

1月7日(月)

セカンド・チャンス

聖書朗読 ヨナ 3章

再びヨナに次のような主のことばがあった。「立って、あの大きな町ニネベに行き、わたしがあなたに告げることばを伝えよ。」 ヨナ 3：1～2

ヨナ書3章は神様からの恵みについて学ぶ上でとても良い箇所です。ニネベは町全体を巡るのに三日間かかる程大きな町でした。しかし、ニネベにおける宣教の第一日目で、人々は悔い改め始めました。人々が、神様の慈しみに気付いたのです。ニネベの王も王服を脱ぎ、粗布をまとい、灰の上に座りました。王は率先して神様の御心に沿って悔い改めました。

ヨナ書第3章は『再びヨナに次のような主のことばがあった』との御言葉で始まっています。ヨナはニネベの人々に対する偏見、恐れ、不寛容、憎しみを持っていました。また神への信仰も必ずしも十分ではなく、「ニネベの人々の心を変える力を神様はお持ちである」ということも確信していた訳ではないようです。そしてヨナは、神様の命令に従って宣教することを拒んでいました。しかし、神様はそんなヨナに「再び」チャンスを与えて下さいました。偏見、恐れ、不寛容、憎しみで心がいっぱいになっているような人(ヨナ)でも、神様に従うチャンスが「再び」与えられたのです。神様は何と寛大なお方なのでしょうか。

そして素晴らしいことに、ヨナにして下さったのと同様に、神様は私達にも悔い改めと神に従うセカンド・チャンスを与えて下さっているのです。

讃美歌 239

祈り 神様、いつも忍耐強くいて下さりありがとうございます。御心に沿えずに過ごしている日があることをお赦し下さい。

イエス様の御名を通してお祈り致します。アーメン。

デール・ジェンキンス
テネシー州スプリングヒル

今日の力

2019年1月7日～1月13日

翻訳 伊藤若菜

編集 相川忠義

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

1月8日(火)

家の装飾

聖書朗読 ハガイ 1：1～15

「万軍の主はこう仰せられる。この民は、主の宮を建てる時はまだ来ない、と言っている。」
ハガイ 1：2

1960～1970年代に、家の内壁に木目の模様が入った茶色のパネルを取り付けて装飾することが流行しました。この茶色のパネルは、安価で、耐久性に優れ、素敵なログハウスの中に居るような印象を与えました。現在私が住んでいる家のリビングにも、このパネルが取り付けられています。以前の住人がもっと軽く、明るい色にしました。私達はこの装飾が大好きです。

ハガイ書を読むと、イスラエルの人々は板張りの立派な家を建てた一方、神の家（神殿）は荒れ果てたまだったとあります。神様が人々をバビロンから連れ戻し、再び神殿の近くに住まわせて下さったのは、神殿を再建するためでした。神殿は、神の臨在を象徴的に表している建物でした。つまり、当時のイスラエルの人々にとって、神殿は「神が共におられる」ということを表している大切な建物だったのです。神様が人々を捕囚から解放して下さり、彼らの故郷へと連れ戻して下さったのは、この大切な神殿をまず再建するためであり、人々が自分たちの立派な家を建てることが第一目的だった訳ではありません。

私達もイエス様にお従いする際、次のことに気を付けたいと思います。すなわち、私達にとって一番大切なことは、地上的な富を自分自身のために蓄えることではなく、（私達に与えられている物を）神様のご栄光のために捧げていくことである、ということです。

讃美歌 332

祈り 神様、いつも必要なものを与えて下さりありがとうございます。最も大切なのは神様とその御国であることを覚えさせて下さい。
イエス様の御名を通してお祈り致します。アーメン。

ロバート・P・ムラン

テキサス州ノースリッチランドヒルズ

1月9日(水)

神に心を向ける

聖書朗読 マタイ 5：1～10

心のきよい者は幸いです。その人たちは神を見るから。
マタイ 5：8

私の友達は10代の頃、テキサス州北部に住んでいました。その頃彼は、農場での仕事を手伝っていたのですが、ある夜、近く農場で干し草を束ねる機械が壊れ、修理が必要となりました。彼はまだ若くて機械の修理や運転は出来ませんでした。しかし彼には、修理する人が見やすいように懐中電灯で照らす役が与えられました。

ところが、まだ少年だった彼は、懐中電灯でただ照らすだけの役割に直ぐに飽きてしまったのです。そして、空の方に光を向けて自分の名前を書いてみたり、農場の牛の方に光を向けて遊んだりし始めました。そしてついに、修理をしている人から「ちゃんとライトを当ててくれ！」と怒られてしまいました。修理している人は暗闇の中、懐中電灯の光無しで作業することは出来なかったからです。

イエス様が「心のきよい者は幸いです」と言われた時、私はこの「きよい」の意味は道徳的な意味だけだと思っていました。しかし、学ぶにつれ「集中している」もしくは「ひとつの」と言う意味もあることを学びました。つまり、「心のきよい者は幸いです」という御言葉を通して、イエス様は私達が主に心をしっかりと（一途に、集中して）向け続けることの大切さを教えておられることが分かりました。そして、そのように心をしっかりと神に向けることは、幸いな祝福された人生の要素なのだと思います。

讃美歌 321

祈り 神様、つい一時的なものに心を奪われ、一番大切な御国へ目を向けることがおざなりになることがあります。どうぞ、一番大切な御国に心を向けられるようお導き下さい。

イエス様の御名を通してお祈り致します。アーメン。

ジーン・シェルブレ

テキサス州アマリロ

1月10日（木）

敵をも愛する愛

聖書朗読 マタイ 5：43～48

それでこそ、天におられるあなたがたの父の子どもになれるのです。天の父は、悪い人にも良い人にも太陽を上らせ、正しい人にも正しくない人にも雨を降らせて下さるからです。 マタイ 5：45

C.S. ルイスは著書『四つの愛』の中で、ギリシヤ語にある四種類の愛について書いています。一つ目は「エロス」と呼ばれる愛で、男女間や夫婦間の愛を指す愛、二つ目は「ストルゲー」と呼ばれる愛で、家族愛などを指す愛、三つ目は「フィリア」と呼ばれる愛で、友情としての愛です。これら三つ愛は、自然に育まれる愛で、敵対する人に向けられることはありません。しかし、四つ目の愛は「アガペー」と呼ばれる愛で、他者の幸せを望む愛です。この「アガペー」の愛は、「敵を愛する」と言う時にときに使われる愛です。これは自然に育まれることはなく、思慮と意思を必要とします。それも深い思慮と強い意志が必要で、人間が持つ自然な感情を抑えることも必要な場合があります。アガペーの愛の実践のためには、敵に善を見出そうとすること、また敵をも愛することは可能なことである、と信じる必要があります。

「あなたの敵の牛とか、ろばで、迷っているのに出会った場合、必ずそれを彼のところにかえさなければならない。」（出エジプト 23：4）

「あなたの敵が倒れるとき、喜んではならない。彼がつかまずくとき、あなたは心から楽しんではいならない。」（箴言 24：7）

「もしあなたを憎む者が飢えているなら、パンを食べさせ、
渴いているなら、水を飲ませよ。」（箴言 25：21）

「もし敵であった私達が、御子の死によって、神と和解させられたのなら、
和解させられた私達が、彼のいのちによって救いにあずかるのは、
なおさらのことです」（ローマ 5：10）。

讃美歌 121

祈り お父様、敵をも愛する愛について教えて下さりありがとうございます。
イエス様の御名を通してお祈り致します。アーメン。

ハービー・フロイド
テネシー州ナッシュビル

1月11日（金）

本当に大切なこと

聖書朗読 マタイ 6：19～24

世の富を持ちながら、兄弟が困っているのを見ても、あわれみの心を閉ざすような者に、どうして神の愛がとどまっているでしょう。 Iヨハネ 3：17

数年前、高速道路で荷台部分を2両連結したトレーラーが走行しているのを見かけたのですが、連結された荷台の組み合わせがとても不自然でした。1両目は葬儀社の荷台、2両目は宅配業者の荷台でした。私はこのトレーラーを見て、配慮の無い軽率な組み合わせのように感じました。

特にアメリカにおいて、私達は軽率に物事を考えがちで、地上的な富に心を奪われがちです。ですから、多くの人々が時にリスクを冒してさえ、また貴重な時間を犠牲にしても、地上的な富を積み上げようとします。そして、地上的な富があればあるほど安心だと考えたりします。

しかし、イエス様は何とおっしゃっているのでしょうか。「そして人々に言われた。『どんな食欲にも注意して、よく警戒しなさい。なぜなら、いくら豊かな人でも、その人のいのちは財産にあるのではないからです』（ルカ 12：15）。また、初代教会を見ても、次のように記録されています。「信じた者の群れは、心と意思を一つにして、だれひとりその持ち物を自分のものと言わず、すべてを共有していた」（使徒 4：32）。

あなたの時間の使い方、或いはお金の使い方は、御国こそ私達にとって大切であるということを指し示すような使い方ですか？ あなたの生き方は、「（受けるよりも）与える」生き方と言えますか？ 御国には持っていけない地上的な富のために、時間を使い過ぎていないか、一旦立ち止まって自分自身を振り返ってみませんか。

讃美歌 513

祈り 神様、本当に大切なことを忘れ、地上的な富に執着している時がある私達をお赦し下さい。イエス様こそ、終わることのない真の希望を与えて下さる方であることを思い起こさせて下さい。また、イエス様こそ、確かに確実な希望を与えて下さるお方ですから感謝します。

イエス様の御名を通してお祈り致します。アーメン。

ジョッシュ・ボイド
インディアナ州ラファイエット

1月12日 (土)

真の癒し

聖書朗読 マタイ 9:1~8

そして自分から十字架の上で、私達の罪をその身に負われました。それは、私達が罪を離れ、義のために生きるためです。キリストの打ち傷のゆえに、あなたがたは、いやされたのです。 I ペテロ 2:24

ある中年の男性が、筋肉痛と腰の痛みのためにお医者様を訪ねました。とは言えこの男性は、筋肉痛と腰の痛み以外には、具合が悪いと感じている箇所は特にありませんでした。お医者様は、この男性の診断にあたってレントゲン写真を撮るよう指示を出しました。この時この男性は、この後もっと大きな病院で精密検査を受けることになるとは全く考えてもいませんでした。レントゲン写真を撮った結果、筋肉痛や腰の痛みとは別のもっと大きな問題が見つかったのです。大きな病院での精密検査の結果を待つ間、この男性は筋肉痛や腰の痛みのことよりも、見つかった大きな問題のことを考えました。

本日の聖書箇所(マタイ9章)で癒された中風の男性も、状況がやや似ているとも言えるのではないのでしょうか。この男性を運んできた人々は、癒しを求めて主イエスの許にこの男性を運んだのです。この男性が健康上の問題を持っていたことは明らかです。しかし主イエスは、運ばれてきた男性の健康上の問題よりもさらに大きな問題にも気付いておられました。主イエスは、この男性の霊的な意味での救いの必要性を、愛に満ちた眼差しで見抜いておられました。

中風の男性が癒されようとしている時、パリサイ人たちはつぶやき始めました。しかし、主イエスは中風の男性に声を掛けられました。「子よ。しっかりしなさい。あなたの罪は赦された」。主イエスは、同じように私達に対しても目を向けて下さり、私達が何を一番必要としているのか、ご存知でおられます。そして私達の魂の救いのために、手を差し伸べて下さいます。

讃美歌 529

祈り 神様、御前において正直で居ようと思っておりますが、そう出来ない時もあります。どうぞあなたの全能なる御力によって、私達が本当に必要なものに気が付くようお導きください。そして私たちを癒して下さい。
イエス様の御名を通してお祈り致します。アーメン。

カーティス・シャルブネ
テキサス州ムレシュ

1月13日(日)

鳥でさえも

聖書朗読 マタイ 10:26~33

空の鳥を見なさい。種蒔きもせず、刈り入れもせず、倉に納めることもしません。けれども、あなたがたの天の父がこれを養っていて下さるのです。あなたがたは、鳥よりも、もっとすぐれたものではありませんか。 マタイ 6:26

鳥たちは比較的小さな動物ですが、神様が創造して下さった素晴らしい生き物です。とても上手にさえずりのメロディーを奏でますが、歌のレッスンを受けたことはありません。水を飲み、水浴びをしますが、水をどうやって手に入れようかと思悩むことはありません。木の枝で巣を作りますが、巣を維持するためにはどうしたらよいかと心配することはありません。日々、餌を捜して食べますが、餌をこれからも探し出すことが出来るかどうか、考え込んだりはしません。なぜならば、鳥に必要なこれらのものは全て神様が備えて下さるからです(マタイ6:26)。神様の備えとは、何と素晴らしいのでしょうか。

マタイ10:29~31を見ますと、神様がいかに私達一人一人を気に掛けて下さっているのかが分かります。神様は被造物である私達や鳥を、心から気に掛けて下さっています。ですから、雀が地に落ちることも神様の許し無しには起こり得ません。また神様は、私達の髪の毛の本数までご存知なほど、私達を大切に気に掛けて下さっているのです。そして、私達は鳥よりも優れた存在であると主イエスはおっしゃっています。

神様がそれほど私達大切に気に掛けて下さっていると確信出来る時、私達はこの上なく心強く感じるのではないのでしょうか。私達は恐れる必要もありませんし、心配する必要もないのです。イエス様は私達に繰り返し「恐れるな」と言っておられることを思い起こしましょう。

鳥は心配事に対する答えがあるから歌うのではない

与えられている恵みがあるから歌うのだ

—マヤ・アンジェロウ

聖歌 604

祈り 神様、時に人生において疑問を持つ時も、いつも御名を讃えることが出来ますよう、お導き下さい。
イエス様の御名を通してお祈り致します。アーメン。

エドワード・ロビンソン
テキサス州テレル